



# ボランティア

4  
2024

安心できて頼れる  
地域の実家がここにある

ほっとスペース  
すてっぴ&すきっぴ



すてっぴ&すきっぴ  
ワーカーズ・まちの縁がわ

杉並区

誰もが安心できる  
まちのほっとスペース  
すてっぴ&すきっぴ  
杉並・ワーカーズ  
まちの縁がわ111草

ほっとスペース  
すてっぴ&すきっぴ



「募金」が「地域」を  
よくするしくみ

## 【特集】杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草

ひぐち ようこ

代表 樋口 蓉子 さん (写真前列右側) スタッフの皆さま

杉並区社会福祉協議会  
地域福祉活動費  
助成金事業

3面・・・チャレンジ！ボランティア 報告

使用済み切手の寄附・ご協力のお礼

4面・・・令和6年度 職員紹介、夏ボラ受け入れ団体募集  
地域福祉活動計画のお知らせ

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、  
宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。  
いつもご協力ありがとうございます。

## 【特集企画】

# 地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草(以下、まちの縁がわ上井草)は、2021年4月に設立。助成金事業の「すてっぷ&すきっぷ まちのほっとスペース推進事業」を行っています。地域の中で、相談対応や、ちょっとした手助け、居場所・サロンとして、子どもから高齢者、障害者も、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざしています。

## 団体の活動内容

まちの縁がわ上井草は、特定非営利活動法人アピリティクラブたすけあい(ACT※)の会員12名が中心となり活動しています。

すてっぷ&すきっぷ(以下、「S&S」)は、上井草地域で10年間活動していた団体(「一般社団法人困ったときのSOS」)の事業を引き継ぎました。

①子どもから高齢者まで、だれでも通える「居場所・サロン」の運営、②気軽に話ができて、情報交換や「身近な相談」ができる場、③日常生活のちょっとした困りごとをお手伝いする「ほっとサービス」の提供という3つの活動を柱に、ケア24上井草や地域の団体と連携し、活動しています。

## 「ほっと」と安心 ほっとサービス

S&Sで特徴的な事業が「ほっとサービス」です。外出や通院の付き添い、家事支援、草取り、買い物代行、保育園送迎等のちょっとした困りごとをお手伝いしています。会員登録が必要ですが、地域の方ならどなたでもご利用いただけます。

現在、ほっとサービスの利用者は30名ほどです。例えば、障害があるお子さんの登校付き添いや、双子のお母さんが保育園から帰宅する際のお手伝い等を平日は行っています。また、高齢の方の利用が一番多く、「お風呂掃除をしてほしい」、「エアコンの調子が悪くなったから見てほしい」といったご相談もあります。このような生活のちょっとした困りごとの相談が、多い月には1ヶ月で100件近くあり、12人のメンバーで対応しています。お断りすることはほとんどなく、メンバー内ですぐに情報共有し、迅速に対応できることも特徴です。

利用料は30分500円と安価に設定し、活動を維持しています。収益が目的ではなく、顔と顔が見える地域だからこそできるたすけあいの活動です。

※ACTは誰もが住み慣れたまちで自分らしく暮らせるよう、地域でたすけあいのしくみづくりをしています。詳細はHP (<https://npoact.org/>) へ。



杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回は昨年度のチャレンジ応援助成団体※の一つ、杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草 代表・樋口蓉子さん、メンバーの皆さんにお話を伺いました。

※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

## 地域の笑顔が原動力に

会としては、地域福祉を推進していきたい、だれもが暮らしやすい地域にしたい、という想いで活動しています。私たちの活動の一番の原動力は地域の方に喜んでもらえることです。ほっとサービスで送迎をしている子どもの成長や、サロンに来てくれる方の笑顔、地域の方がS&Sのことを広めてくれたり活動のサポートをしてくれること、そのような地域の皆さんの笑顔やつながりが私たちを支えてくれています。

残念ながら、S&Sは2022年7月に、事務所の移転を余儀なくされましたが、地域のご縁で現在の上井草駅近くの物件を無償で貸していただけることになりました。また、ケア24や保健センターとの連携を通じた「身近な相談」事業の展開、そして、「子ども用品おさがり交換会(3月23日実施)」の取組に代表されるように、これらの事業は、区民や関係団体、行政の協力があってこそ成り立つものです。地域におけるつながりの大切さを感じています。



## 今後について

活動を始めて3年。 ▲サロンの一つ「親子ひろば」の様子

ほっとサービスのサポーターも増員されており、更に皆様のご依頼に応じていくと共に、子育て世代や子どもたちへの支援も進めていきたいと思っています。

S&Sの活動によって、私たちは地域とつながれる楽しさを感じています。地域の皆さんにとって安心できて、ちょっと困った時には頼れるような、誰にとっても居心地の良い場所をめざしていきます。まずは、少し休んでコーヒーを飲むだけでも構いません。気軽にのぞいてもらえたらと思います。



▲S&Sは診療所だった場所を借りて、サロンを行っています。

杉並・ワーカーズまちの縁がわ上井草

HP : <https://www.facebook.com/stepandskip.suginami>



月～金曜 9:30～16:30  
〒167-0021 井草5-7-5 ヴェルドーム1F  
03-5303-4246

# チャレンジ！ボランティア 特別企画 地域活動ことはじめ ～子どもに寄り添うボランティア～ を開催しました！

3月2日(土) 杉並区役所分庁舎にて、杉並区地域課(すぎなみ地域大学担当)と共同でチャレンジ！ボランティアの講座を開催しました。「これからボランティアを始めてみたい」という方々を対象に、さまざまな場面で子どもを支える活動をする方々をお招きし、公開インタビューや座談会の中で、それぞれの活動のやりがいや、子どもとのエピソード等を伺いました。

24名の参加者からは質問や意見交換を通じて、「子どものために活動したい」という気持ちが伝わってきました。受講後の感想も「活動したいという思いから実際に活動出来ると実感いたしました」「子どもに関する様々なボランティアのお話を聞け、参考になりました」など嬉しいご意見を多くいただきました。



本講座をきっかけに新しい一歩を踏み出していただければ幸いです。

### ゲスト（上写真左側から）

- 放課後等デイサービスみのり 代表・中田 修三氏
- すぎなみ子どもサポート 理事・谷原 博子氏
- 杉並区 子ども家庭部 児童館運営係 係長・藤野 京子氏
- 杉並区 教育委員会事務局 特別支援教育課 計画係長・小塩 尚広氏



## 使用済み切手の寄附と ご協力のお礼

令和5年度(4月1日～3月31日)に区民の皆さま、団体や関係機関から使用済み切手のご寄附をいただきました。ご協力ありがとうございました。また、ご寄附いただいた使用済み切手は、切手整理ボランティアの方々に整理していただいています。

寄附件数： のべ約 252件(個人・団体含む)  
 収益金： 57,870円  
 切手整理ボランティア参加者数： のべ100人

収益金は地域福祉のために活用します。引き続き、切手回収のご協力をお願いいたします。



## 今、私たちに できること



令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、たくさんの方が被災されました。3か月経った今も多くの方が避難され、支援が足りない状況です。

ポラン・てでは、「その時に被災地が求めている支援」、「私たちができる支援」を紹介していきます。

### 💡 たすけあおうNippon 被災地を応援 Amazon ほしい物リスト

被災地や、被災者支援をしている団体が、アマゾンを活用して「ほしい物」をリストにしています。被災地では物資の保管や数の調整にとっても苦勞します。現地に必要な物を必要な量だけ掲載しているので、代わりに購入をすることで被災地に物資が届けられるしくみです。

ぜひHPをご覧ください、「いま必要な支援」にご協力ください。

<https://www.amazon.co.jp/b>

[/?ie=UTF8&node=24380220051](https://www.amazon.co.jp/b/?ie=UTF8&node=24380220051)



### 必見

## MADE IN 杉並

区内の福祉施設や団体で作っているオススメの製品・作品を紹介します。お気軽にお問合せください！



毎年好評のチャレンジ点図カレンダーです。次回2025年版は「フルーツ」をテーマに製作中で、2024年8月販売予定です！



視覚障害者総合支援センター チャレンジ  
 (桃井4-4-3) TEL: 03-5310-5051

<http://www.siencenter.or.jp/education/challenge.html>

# 令和6年度杉並ボランティアセンター職員紹介

- ①名前
- ②主な担当業務
- ③隙間時間の過ごし方

地域支援課長

- ①中島  
②ささえあう地域づくり全般(実際は書類確認が6割、話を聴くのが4割)  
③NHK朝ドラを深夜に観ること。



杉並ボランティアセンター所長

- ①小林  
②センター業務全般、運営委員会等  
③ストレッチ！ツボ押し(最近四十肩の気配が…！)



新体制も引き続き  
よろしく願いいたします！

- ①山本  
②地域福祉活動費助成金、傾聴ボランティア、特技さん  
③おやつを食べるか睡眠



- ①小山  
②災害ボランティア、福祉教育、夏のボランティア  
③芸人のYouTubeチャンネルを見ています。



- ①山田  
②チャレンジ！ボランティア、情報紙、ホームページ  
③SNSでテーマパーク情報やかわいいグッズがないかチェックしています。



## お世話になりました～異動・退職の職員からのご挨拶～

ボランティアセンターへ来て早や4年。団体や個人のボランティアさんなど、多くの方々からご協力をいただきました。本当にありがとうございました。コロナの前後でボランティア活動も大きく変化し、まさに転換期だったと思います。皆さんにとって何をしたらよいか、私たちも悩みながら一つひとつを積み上げてきました。異動してボランティアセンターを離れてしましますが、社会福祉協議会にはおりますので、また皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。ありがとうございました。(竹嶋)

地域の皆さま、団体のみなさまのおかげで、さまざまなことを学ぶ機会に恵まれ、大変勉強になりました。次の部署でも皆さまに教えていただいたことを活用したいと思います。4年間ありがとうございました。皆様の活動の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。大変お世話になりました。(江口)

3年間お世話になりました。特技さん、傾聴ボランティア、チャレンジ！ボランティア、切手整理ボランティア、ボランティア保険、福祉学習貸出などを担当してきました。前半はコロナ禍による活動の自粛が続き、後半はコロナから脱却するためにもがいた3年間でした。みなさんのご協力・ご支援で、つたないながらも3年間を全うすることができました。今後は、一区民として、ボランティア活動を楽しみたいと思っています。お世話になりました。(平澤)



## 夏のボランティア体験2024

ボランティア受け入れ先団体・施設を募集します

今年度も「夏のボランティア体験2024(夏ボラ)」を実施します。実施にあたり、令和6年7月23日(火)から8月24日(土)の期間中(数日間でも可)、ボランティアを受け入れてくださる、区内で活動している団体・施設等を募集します！

ボランティアの受け入れをご希望の団体・施設等の方は、活動内容や人数、期間等を調整させていただきますので、杉並ボランティアセンターまでお電話またはメールをお送りください。

ご連絡お待ちしております！

例えば…レクリエーションの補助や利用者等の話し相手になってほしい、お祭りやイベントのお手伝いをしてほしい等



昨年の夏ボラはこちら⇒<https://www.borasen.jp/service/04>

「杉並社協地域福祉活動計画 令和6(2024)年度～令和9(2027)年度」を策定しました！

「地域福祉活動計画」は、地域の様々な生活課題について、区民・地域・民間団体、そして社協が身近な問題として受け止め、共に解決していくための活動や取り組みを明記したものです。

地域福祉活動計画についての詳細はこちら【社協HP二次元コード】よりご覧いただけます。



## 杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会  
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階  
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: [info@borasen.jp](mailto:info@borasen.jp) ホームページ: <https://borasen.jp/>

うえるくん  
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日  
8:30～17:00

\* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内JR、地下鉄丸の内線など)・他